ASAHICHO JUNIOR HIGH SCHOOL
令和8年10月15日
旭町中学校学校だより NO.8

10月臨時号

校長室から
授業等を観ていて・・・生徒の皆さんへのお願い

校長　　石橋　功

9月28日に旭町中学校の生徒会役員選挙が行われました。立会演説会が終わって、投票を前に、投票についての注意事項の説明がありました。選挙管理委員の人が、「投票用紙に記入をした後、投票用紙を縦にして折って投票箱に投票すること」を言葉による説明と併せて、ステージ上のスクリーンに図で示しました。私は、投票する様子を見ていたのですが、おそらく約20%を超える生徒が、投票用紙を折らなかったり、横に折って投票しようとしたりして、選挙管理委員の人に注意を受けていました。

この投票の様子を見て思ったのが、生徒の皆さんの説明や指示の聞き方（聴き方）等に関わる心配です。

英語で、「見る」という意味の単語は、seeとlookとwatchの3つありますが、それぞれ微妙に意味に違いがあります。seeは自然に目に入るという意味で、lookが意識して視線を向けるという意味、watchは注意深く観察するという意味です。ですから、街中で友人を見かけた時はseeを使い、授業で黒板を見る時はlookになります。

「聞く」についても、同じように意識に関係して2つの英語があります。聞こえる（耳に入ってくる）を意味するhearと（聴こうと意識して）耳を傾けることを意味するlistenです。

生徒会役員選挙の投票での選挙管理委員の指示に耳を傾けることができたでしょうか？BGMが音として耳に入ってくるかのようにhearしてなかったでしょうか？

これは、普段皆さんの授業を観ていても感じることです。先生方の説明や指示に対してlistenして（耳を傾けて）いるでしょうか？教科書や黒板に書かれた内容、資料に対してlookして（視線を向けて）いるでしょうか？この「見る」と「聞く（聴く）」行為について、「見よう」「聴こう」という意識が大切になります。それを意識してするかどうかで、知識の定着や深まりが左右されてしまうように思います。

もう一つ、皆さんにお願いしたいことがあります。姿勢についてです。授業を観ていて、イスに横向き、あるいは斜めに座っている人、机にうつ伏せるようにしている人、机の脚の外に足が出ている人がいます。授業等における姿勢を正す意味は、欧米での崩れた姿勢が後ろの人の視野をさえぎっている公衆のマナーの視点と日本の場合の姿勢の乱れは心の乱れといった精神を正す視点があります。

実はこの2つの視点以外に、学習効率の視点もあります。正しい姿勢を続けると、胸が開いて肺に空気を取り込みやすくなり、自然と呼吸が深くなります。深い呼吸は、全身の血行を良くし、脳に酸素をたくさん送り込んで活性化する効果があります。そのため長時間勉強を続けていても、疲れを感じにくくなったり、集中力がアップしたりするメリットがあります。勉強に取り組む際に、きちんと背筋を伸ばした姿勢で座っている学生は、成績が良いという研究結果が出ています。カナダ、オンタリオ州のトロント大学で2020年から2021年にかけて行われた研究によると、勉強中に正しい姿勢で座っている学生は、イスにだらしなく座っている学生よりも成績が著しく良いことが分かり、2023年2月に発表されています。

勉強する時、指導や指示を受ける時、話し合いをする時、姿勢を正すことは、学生の時だけに必要なことではなく、社会に出てからも、マナーとしても、また、自分を磨くためにも必要なことになると思います。

今回、「見る」こと、「聴く」こと、「姿勢」について、学校だより臨時号として、書きました。果たして自分はできているだろうか、自問（自分で自分に問いかけること）してみてください。